

2017

# 高岡市医師会報

6

TAKAOKA MEDICAL ASSOCIATION BULLETIN

2017. 6 No.492



## CONTENTS

・ 理事会第2・3回 .....	2
・ 二塚医師会館引き渡し式 .....	4
・ 第160回高岡市医師会臨時総会 .....	5
・ 委員会報告 .....	6
・ 産業保健だより .....	6
・ 検査センターだより .....	6
・ 公的病院だより（JCHO高岡ふしき病院） .....	8
・ 会員の動向 .....	9
・ 寄稿「医食同源」 .....	10
・ 検査センターからのお知らせ .....	11
・ 地域保健だより・病診連携室 .....	12
・ 高岡市急患医療センターだより .....	13
・ 高岡ねがいみち駅伝 .....	14
・ 訪問看護ステーションだより .....	16
・ 市医のあゆみ .....	17
・ 予定表・編集後記 .....	18

# 理 事 会 報 告

## 第 2 回 (平成29年4月26日)

### 協 議

- 1) 特定健康診査等説明会の開催について  
5月22日(月)19時よりふれあい福祉センターで開催することになった。
- 2) 高岡市健康づくり推進協議会の専門部会  
「新高岡市健康増進計画」策定委員会委員の推薦について  
酒井成先生を推薦することになった。
- 3) 高岡市医師会二塚の土地使用貸借契約書について  
案のとおり契約することになった。
- 4) 高岡市医師会二塚の建物等無償譲渡契約書について  
案のとおり契約することになった。
- 5) 平成29年度富山県在宅医療推進加速化事業について  
富山県の新事業に伴い在宅医療談話会、緩和ケアグループワーク、摂食嚥下研修会について申請することになった。
- 6) 臨床検査センターパンフレットについて  
検査センターの利用増進を図るため、呉西地区の医療機関へ検査センターの特徴を記載したパンフレットを配布することになった。
- 7) 高岡市在宅医療・介護連携体制推進事業実績内訳について  
案のとおり高岡市高齢介護課へ提出することになった。

### 報 告

会員の動向

### ❦ 表紙のことば

宇野内科医院 宇野義知

### 「真っ赤な喉袋で愛を叫ぶ アメリカグンカンドリ」

ガラパゴス諸島のノース・セイモア島にはグンカンドリの営巣地があり、数多くのグンカンドリを見た。低木“バロサンド”に作った巣の上で、オスは赤い喉袋に空気を入れて膨らませ、それを見せるようにのけぞり、奇声をあげて上空にいるメスにアピールする。実に目立つ喉袋の色である。

他の海鳥から獲物を略奪することから「軍艦」の名前が付いている。体重の割に翼の面積が広く、翼長は2mを超え、長時間飛行できるが、羽に撥水性がないために水中に入ると溺れてしまうとのこと。

# (理)(事)(会)(報)(告)

## 第 3 回 (平成29年5月12日)

### 協 議

- 1) 日本医師会予備代議員、富山県医師会役員及び裁定委員の候補者推薦について  
日本医師会予備代議員候補者に炭谷哲二先生、富山県医師会副会長候補者に炭谷哲二先生、理事候補者に金子敏行先生、井川晃彦先生、鳥嶋康光先生、裁定委員候補者に長谷田祐一先生を推薦することになった。
- 2) 在宅医療市民公開シンポジウムの開催について  
7月9日(日)13:30からイオンモール高岡で開催することになった。  
今回「がんの終末期ではあわてて救急車を呼ばないように」をテーマとし、内容については在宅医療連携協議会小委員会で検討することになった。
- 3) 学校医の推薦について  
平成29年4月30日付で定塚小学校、野村小学校、高陵中学校の校医、宮田辰夫先生の辞任申し出があり、宮田千菊先生を推薦することになった。(耳鼻咽喉科)
- 4) 特定健康診査受診勧奨パンフレットについて  
受診率を上げるため、患者さんの家族、友人向けに勧奨パンフレットを医療機関から配布することになった。
- 5) 平成28年度収支決算について  
各担当役員より資料に基づき説明があり、次回の理事会で再度検討することになった。
- 6) 平成28年度会務報告について  
案が提出され、次回の理事会で確認することになった。

### 報 告

- 1) 諸会議報告  
4/27 在宅医療連携協議会小委員会
- 2) 会員の動向



## 二塚医師会館引き渡し式

広報・IT関連担当理事 成瀬 隆 倫

5月2日に旧高岡市医師会館前で建物の引き渡し式が行われました。

高岡市からは、福祉保健部部長 吉澤実氏、福祉保健部次長 社会福祉課課長 西本幸夫氏、福祉保健部健康増進課課長 上見 弘昭氏、同総務係長 寺嶋 磨里子氏が出席され、医師会からは執行部から藤田会長始め、宮島副会長、金粕副会長の3名が、事務局から村本局長始め5名の職員が出席しました。

医師会館および看護学校設立に尽力された諸先生方の労苦を無駄にしないように使って頂きたいとの要望を高岡市に伝え、大切に使用させていただきますとのご返事をいただき、引き渡し式は無事終了しました。



## 第160回

## 高岡市医師会臨時総会

広報・IT関連担当理事 成瀬 隆 倫

5月19日に第160回臨時総会が高岡市医師会ホール会議室で開催されました。

高岡市医師会議長、副議長、富山県医師会代議員、予備代議員の選挙等が行われ次のとおり決議されました。

(候補者一覧表記載順)



## 高岡市医師会議長及び副議長選挙

- ・高岡市医師会議長  
小関 支郎
- ・高岡市医師会副議長  
東 貢



## 富山県医師会代議員及び予備代議員選挙

- ・富山県医師会代議員  
田中 功、藤田 一、宮崎 幹也、  
金粕 浩一、吉田耕司郎、泉 祥子、  
宮島 久仁
- ・富山県医師会予備代議員  
酒井 成、寺田 光宏、成瀬 隆倫、  
杉森 成実、高田 裕恭、白崎 文朗、  
米脇 克哉



## 議案審議

- ・第1号議案 富山県医師会役員、裁定委員並びに日本医師会予備代議員候補者推薦の件
 

富山県医師会副会長候補者	炭谷 哲二
富山県医師会理事候補者	金子 敏行、井川 晃彦、鳥島 康充
富山県医師会裁定委員候補者	長谷田祐一
日本医師会予備代議員候補者	炭谷 哲二

# 委 員 会 報 告

●がん検診委員会 平成29年4月25日

担当理事 寺田光宏  
副担当 民野彰  
副担当 堀 彰宏

・平成29年3月の結果について

	胃がん検診(X線)	大腸がん検診	前立腺がん検診	肺がん検診
精密検査受診者	4名	17名	0名	2名
がん症例	0名	1名	0名	0名

3月のがん症例は、大腸がん1名でした。

## 産業保健だより

担当理事 杉森 成実

高岡地域産業保健センターでは、平成29年6月は下記のとおり活動を行います。  
高岡市医師会で行う健康相談は予約制です。働く人への周知方ご協力をお願いいたします。

健康相談

実施日	時間	場所	担当相談医
6月2日 金	13:00 ~ 14:00	高岡市医師会	宮島 久仁
6月23日 金	13:00 ~ 14:00	高岡市医師会	東 貢

## 検査センターだより

担当理事 白崎 文朗

### 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会に参加して

日 程：平成29年4月8日(土)～4月9日(日)

会 場：名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟 3F 大ホール

報告者：宮腰 希望

平成26年6月18日、臨床検査技師に関する法律の一部を改正する法案が成立しました。平成27年4月1日から施行、臨床検査技師の業務が拡大され、検体採取等に関する厚生労働省指定の講習を受けることで、検体採取や嗅覚検査・味覚検査が行えるようになります。2日間にわたりこの講習会に参加したので報告します。

1日目の午前中は、臨床検査技師等に関する法律について触れました。午後から皮膚表在組織病変、糞便検査について、2日目は咽頭・鼻腔について各々の解剖や疾患、安全に検体を採取

する方法、採取する際の注意事項、感染管理などの講義を受けました。また舌圧子と綿棒を用いて隣の方とお互いに咽頭に触れる実技を行いました。

皮膚の講義では、まずはじめに「皮疹とは…」からスタートしました。紅斑、丘疹、水疱、膿疱、鱗屑、びらん、潰瘍、亀裂、侵軟、角質増生と皮膚に生じた病変には呼び方のルールがあり、皮疹のパターンなどから医師は診断を行っていることを知りました。また「白癬」いわゆる水虫にも感染部位の違いで病名が異なり、たくさんの病名がありました。「白癬」の検体材料には、水疱蓋や角層、鱗



屑、爪、毛が使われますが、膿疱からは直接鏡頭で検出しづらいそうです。皮膚表在組織病変の検査では、①正しく検体を採取する②見る③判断するの3つの技術が必要だとお話がありました。菌が検出しやすい部位、検出しづらい部位や病変の呼び名を理解していないと正しい検査結果は得られないため責任重大な業務であると感じました。

糞便検査ではすぐに排便がない場合、高齢者で便採取ができない場合は、スワブを用いて検体を採取します。その時、直腸壁を突き破る恐れがあるため可能な限り背側へ進めるように入れることがポイントです。背側へ進めたつもりであっても、結果的に腹側へ進めている場合があるため抵抗感が強い場合は、無理をしないことが大切です。特に高齢の患者さんは、痛みの感覚が鈍いため、穿孔を起こす確率が高いので注意しなければなりません。また検査を受ける患者さんは、恐怖心や羞恥心などで緊張されています。この時、肛門も緊張している状態なので検査がスムーズに行えるよう声をかけてあげることや、肛門が隠れるようにバスタオルをかけてあげるなど患者さんへの配慮が必要です。検体採取の際には手袋を着用しますが、手袋にはピンホールといわれる穴が開いているそうです。200枚の手袋があった場合5枚までには穴が開いていても製品全体として問題がないことには大変驚きました。手袋を着用していても手が汚染されているということです。石鹸と流水で15秒以上の手洗いがとても大切であり、特に指と指の間や爪先などの洗い残しが多い部位は入念に洗うことが大切であると改めて感じました。

インフルエンザの検査は綿棒を使って鼻腔より検体を採取します。このとき綿棒は軽く持ち、水平にして下鼻道へ8cm～10cm入れます。上向きに入れてしまうと、鼻腔内の細菌を取ってしまうことになり目的とする検査の対象になりません。アデノウイルスや溶連菌では舌圧子と綿棒を使って咽頭より検体を採取します。順番としては、まず舌圧子の袋を開けます。次に綿棒の袋を開けます。舌圧子を袋から取り出します。綿棒はコンタミしやすいため最後に袋から取り出します。利き手と反対の手

で舌圧子を軽く持ち、綿棒は利き手で軽く持ち採取を行うよう教わりました。咽頭に触れる際は、舌背を舌圧子で抑え“あー”と患者さんに発音してもらいますが、このとき舌根部に触れると嘔吐反射を起こすので気をつける必要があります。触れていなくても入っているという感覚だけで嘔吐や吐き気をしてしまうことがあるので、短時間で採取を済ませなければなりません。私が被検者役のときに実際、嘔吐反射が起き涙も出てとても辛い思いをしました。

2日間の講習を振り返って、始めて知ることばかりで、たくさんのことを学ぶことができました。大変面白い講義で、2日間長いようであつという間の時間でした。講習の中で「検査技師の温かい一言が患者さんを安心させる」という言葉が印象に残りました。誰もが、病院や検査が好きで来院されているわけではありません。なるべく苦痛を与えず、正しい部位から正しい手順で検体を採取することが大切だと感じました。検査技師の業務が拡大され、これから病棟や在宅医療に検査技師が出向く機会が増え、患者さんと触れることも多くなります。仕事へのやりがいや身に付く知識、技術が増える一方、感染する危険度も増えます。まずは自分の身を守ることが大切だと思いました。(1)自分たちが感染しない。①患者さんから感染症を貰わない。②患者さんは当該疾患だけとは限らない。例えば、アเมอร์バー性大腸炎の便を取り扱う際、同性愛者の患者さんかもしれない。HIVや肝炎ウイルス、梅毒などの性感染症に感染しているかもしれない気に留めておく。(2)自分たちが感染の媒介にならない。①検査前・後には手洗いなどの手指衛生をしっかりと行う。②マスク・手袋・ガウン・ゴーグルを着用する。(3)環境整備を行う。ノルウェー疥癬の鱗屑が落ちた部屋は48時間使用禁止にするなど。

これから検体採取業務にあたる機会がある際は、これらの感染対策を十分に行い患者さんの気持ちになって遂行していきたいと思います。

## 公的病院だより (JCHO 高岡ふしき病院)

### 就任挨拶と“もの忘れ外来”の開設 — 認知症ケアの重要性 —

院長 高嶋修太郎

私は平成29年4月1日付けで、加藤弘巳前院長の後を引き継ぎ、独立行政法人地域医療機能推進機構(略称:JCHO)高岡ふしき病院の院長を拝命しました。

JCHOの使命として、「地域医療、地域包括ケアシステムの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支える」ことが謳われています。当院は、高岡市北部の基幹病院として、急性期治療から回復期まで、地域の皆様のご要望に応じた幅広い医療を実践します。また、地域医療連携室や併設の訪問看護ステーションを中心に、在宅訪問診療や訪問看護にも真摯に取り組みます。さらに、生活習慣病の予防と早期発見をめざして、併設の健康管理センターで、県内企業を対象に職場健診を実施し、地域住民を対象に特定健診を含む健康診断を実施します。

地域の皆様に安心、信頼の医療を提供するためには、かかりつけ医の先生方との連携、療養型病院や介護施設への橋渡し、介護・福祉などの行政手続き、在宅医療支援など、地域における医療・介護・福祉等の切れ目ない連携を実践する「地域包括ケアシステム実践病院」が必要です。当院はまさにそのような機関として地域医療に貢献していく所存です。

私の専門は神経内科であり、24年間に渡り富山大学附属病院で教育、診療、研究を行ってきました。高齢化社会では、脳卒中、パーキンソン病などの神経疾患や、頭痛、めまい、しびれなどの症状を訴える患者さんは

多数います。しかし、富山県では神経内科専門医の数は少なく、伏木地区には今まで神経内科専門医が不在でした。今後、当院へ気軽に紹介していただければ幸いです。

高齢化社会では、神経疾患のうち特に“認知症”が大きな課題です。認知症の患者さん本人だけの問題ではなく、同居する家族全員に大きな負担が生じます。本院では、神経内科専門医、認知症サポート医、認知症認定看護師のスタッフが揃い、地域医療連携室や訪問看護ステーションを中心に在宅訪問診療や訪問看護を行い、認知症ケアにおける地域包括ケアシステムの構築を目指します。現在、多職種による認知症ケアチームを結成して、認知症を併せ持つ入院患者さんを対象に毎週ラウンドを行っています。また、水曜日の午後には「もの忘れ外来」も開設しました。

以上、JCHOグループの一員として、高岡伏木地区における地域医療に貢献できるよう、全力を尽くす所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。





## 会員の動向

### 入会

月日	種別	氏名	科目	病・医院または勤務先
4/1	B 2 a	いわい なかよういち 岩井中陽一	内	高岡市民病院(射水市民病院から)
4/1	B 2 b	さくむら なおと 作村直人	小	高岡市民病院
4/1	B 2 b	しゅうだ よしみ 庄田佳未	麻	高岡市民病院
4/1	B 2 a	はやし しんいち 林伸一	病理	高岡市民病院(富山大学から)
4/1	B 2 a	みやなが しょうへい 宮永章平	外	高岡市民病院
4/1	B 2 b	てらだ かずし 寺田和始	内	高岡市民病院
4/1	B 2 b	まえかわ なおと 前川直人	内	高岡市民病院(金沢大学附属病院から)
4/1	B 2 b	まなべ たかひろ 真鍋高宏	外	高岡市民病院
4/1	B 2 a	かみに かずお 神谷和男	麻	高岡整志会病院
4/1	B 2 a	さかまき みどり 坂巻緑	麻	高岡整志会病院
4/1	B 2 a	たなか としひろ 田中利弘	整	高岡整志会病院
4/10	B 2 a	さいとう なつこ 齊藤奈津子	内	齊藤外科小児科クリニック (地域医療推進機構・金沢病院から)
5/1	B 2 a	とみやま よしこ 遠山芳子	麻	高岡整志会病院
5/1	A	まつい こうじろう 松井恒二郎	内	介護老人保健施設きぼう 管理者に

### 退会

月日	種別	氏名	科目	退会の事由
3/31	B 2 a	ささき やすし 佐々木泰	産婦	厚生連高岡病院から市立砺波総合病院へ
3/31	B 2 a	やぎした みきお 柳下幹男	形	厚生連高岡病院から金沢医科大学附属病院へ
3/31	B 2 a	いしかわ かずや 石川和也	耳	厚生連高岡病院から金沢大学附属病院へ
3/31	B 2 a	やまもと まさかず 山本正和	循内	厚生連高岡病院から厚生連滑川病院へ
3/31	B 2 a	たばた あや 田端あや	麻	厚生連高岡病院から金沢大学附属病院へ
4/30	B 2 a	ひらい のぶゆき 平井信行	消	厚生連高岡病院 退職

### 異動

月日	種別	氏名	科目	異動の事由
4/17	B 2 a	うしじま みちよ 牛島倫世	産婦	富山県医師会入会(高岡市医師会入会済)
4/1	B 2 a	いちやなぎ けんじ 一柳健次	放	高岡市民病院から光ヶ丘病院へ
4/1	B 2 a	ふじおか けんすけ 藤岡研佐	循内	高岡市民病院から厚生連高岡病院へ
4/1	B 2 a	とりはたけ やすみつ 鳥畠康充	整リハ	日本医師会入会(県・市医師会入会済)
5/1	B 2 a → A	みやた ちきく 宮田千菊	耳	宮田医院 管理者に
5/1	A → C	みやた たつお 宮田辰夫	耳	宮田医院 退職
5/16	A	よしえ まさき 吉江正己	産婦	介護老人保健施設きぼうから吉江レディースクリニックへ

## 寄稿

## 医食同源

日頃、胃瘻で栄養され食を回復して抜去に至る方をみていると、食の意義と嚥下の複雑な巧緻性を考えさせられるが、何かの折にこの語句を目にしてその意味はと想い巡らしてみた。直ぐ分かるような語感はあるが、その関係はとなると鶏と卵的な想いに陥る。医療は食により支えられ、また食により疾病が左右されるとなると、根源は食か医かとなるが、この成語には出典があるという。

それは中国の薬食同源の思想から派生し、薬では内服薬と誤認されるので医に置き換えられた日本での造語とのことで、その意味も深堀りの必要はなく、日頃からバランスのとれた食事で病気の予防、治療を心懸ける健康志向の意味とされる。

1990年前後からの健康ブームに乗り一般に使われていた成語のようであるが、寡聞にして余り目にしたことはなかった。近年、為替変動の影響もあってか海外からの観光客が年々増加傾向にあると報道されているが、それに伴い日本の和食が健康面からも脚光を浴びて海外でも和食提供の場が広がっているといわれ、3

介護老人保健施設おおぞら 江尻 進

年後のオリンピックにはこの和食ブームが協奏曲となるのであろうか。

医食同源の目指すところとして健康寿命の延伸があげられる。厚生省の統計によると平均寿命は2013年には男性も80才を超え、女性の86才代と共に高齢化が進んでいる。食事、入浴等のADLが自立している健康寿命は、平均寿命に比べておよそ男性は9年、女性は12年の開きがみられる。この間に低栄養とサルコペニア等が要因となってフレイルが進行し、廃用症候群へ移行するとの説もあり、この進行予防が重要となる。

医療も介護も報酬改定毎に社会保障費の自然増し削減を掲げて自己負担を上げ、規制強化等を図るばかりであり、公助も共助も期待薄で互助にも不安が伴い、残るは自助となる。加齢によるフレイルは避けられないが、医食同源の意を生活習慣等に思い、少しでもハッピーな経過を目指すことで行く末の光を絶やさないう自らを鼓舞するしかないのであろうか。

折角、投稿の機会を頂きましたが、まとまりのない話となり、申し訳なく思います。

了



セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

薬価基準記載

**サインバルタ**®  
カプセル20mg  
カプセル30mg

Cymbalta® デュロキセチン塩酸塩カプセル

劇薬、処方箋医薬品<sup>※1</sup>

注1) 注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照下さい。

©: 米国イーライリリー・アンド・カンパニー登録商標

製造販売元【資料請求先】



**シオノギ製薬**

大阪市中央区道修町3-1-8  
医薬情報センター ☎0120-956-734

CYM-KO-102A(C1)・R  
審H8137 2015年1月作成

## 検査センターからのお知らせ



採血担当者 様へ

「高岡市が実施する肝炎ウイルス検診」での採血についての重要なお知らせです。ぜひお読みください。

高岡市のC型肝炎ウイルス検診を依頼する場合、当会臨床検査センターでは**生化学用採血管**と**専用採血管**の2本採血をお願いしています。

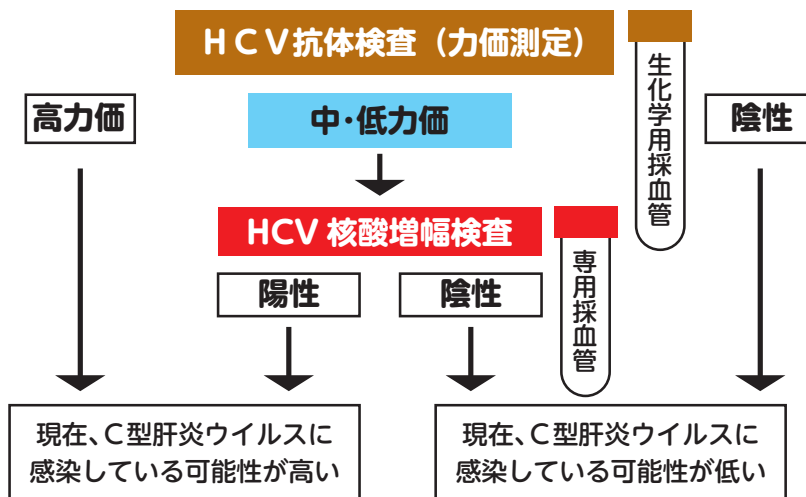
C型肝炎ウイルス検診では、まず**生化学用採血管**を用いてHCV抗体の検査を行います。HCV抗体が陽性であった場合（中力価もしくは低力価）、自動的にHCV核酸増幅検査が追加されます。この核酸増幅検査はコンタミネーションの影響を大きく受けるため、**未開封の検体**が必要になります。この未開封の検体が**専用採血管**です。

〇〇さん、  
もう一度採血に  
来てください。



生化学用採血管1本あるいは、専用採血管1本のみの採血だと、HCV抗体検査が陽性だった場合、患者さんに再度来院してもらい採血をすることになります。

お手数をおかけしますが、よろしくお願ひします。



『「健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診等の実施について」の一部改正』（平成 25 年 2 月 8 日、健発 0208 第 11 号）より

受診例	必要な採血管
B型肝炎ウイルス検診 + C型肝炎ウイルス検診	生化学用採血管 専用採血管
B型肝炎ウイルス検診のみ	生化学用採血管
C型肝炎ウイルス検診のみ	生化学用採血管 専用採血管



地域保健だより

担当理事 酒井 成

◇6月の地域保健・医療事業への協力について

・母子保健事業

内 容	実施日	出 向 医 師 名		
		小 児 科		整 形 外 科
3 か月児健診	6月8日(木)	佐久間 友子	市村 昇悦	田中 豊也
	6月15日(木)	荻野 千鶴子	宮崎 あゆみ	高岡市民病院
	6月22日(木)	上勢 敬一郎	清水 道郎	澤田 利匡
1歳6か月児健診	6月6日(火)	窪田 博道	西村 暢子	/
	6月13日(火)	粕井 正春	新澤 隆	
	6月20日(火)	深島 丘也	淵澤 竜也	
3歳児健診	6月7日(水)	斉藤 悠紀子	辻 春江	
	6月14日(水)	荒井 邦美	吉田 礼子	
	6月21日(水)	小栗 絢子	辻 隆男	
幼児保健相談	6月9日(金)	行枝 貴子		
未熟児発達相談	6月12日(月)	今村 博明		

病診連携室

◇オープン病床の利用率について

	1月	2月	3月	4月
高岡市民病院	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
厚生連高岡病院	14.2%	13.6%	53.2%	41.7%
済生会高岡病院	37.1%	21.7%	5.0%	14.6%
JCHO高岡ふしき病院	67.0%	49.0%	75.0%	99.0%

◇れんけいネット利用状況について

高岡市民病院	1月	2月	3月	4月
カルテ参照登録患者数	16名	12名	23名	15名
予約患者数	9名	11名	18名	19名

厚生連高岡病院	1月	2月	3月	4月
カルテ参照登録患者数	6名	9名	21名	23名
予約患者数	52名	54名	66名	45名

済生会高岡病院	1月	2月	3月	4月
カルテ参照登録患者数	8名	5名	4名	9名
予約患者数	6名	9名	6名	8名

高岡市急患医療センターだより 担当理事 泉 祥子

4月及び春の連休期間中の患者数

4月の患者数は、2,072人と直近5か年の平均に近い人数となりました。春の連休期間中（4/28～5/6）の累計患者数は1,642人となり、昨年（1,371人）と比較して271人多い患者数で、直近5か年では、2番目に多い患者数でした。一日の患者数では、5月の3連休は、3日294人、4日309人、5日302人でした。連休期間中の診療科別患者数は、内科598人（36%）、小児科701人（43%）、外科343人（21%）となっています。本年も期間中の3日間（5/3～5/5）は午前中（9:00～13:00）内科医師1名を増員し、内科2診体制としたほか、3日、4日の午前は小児科医1名の応援体制により、患者待ち時間の短縮に努めました。

（文責 作道 篤）

時間帯別受診患者数

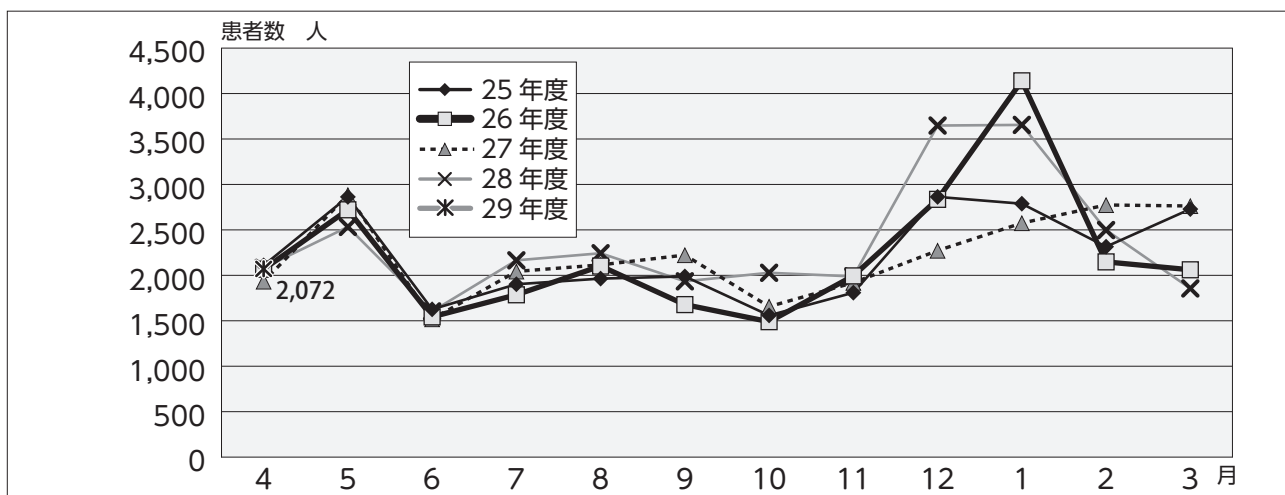
平成29年4月（単位：人）

月別	時間帯別	内科			小児科			外科			合計			転送患者数			
		初診	再診	計	初診	再診	計	初診	再診	計	初診	再診	計	二次病院		他院	
														診療科	本人		救急車
29年度 4月	午前	134	6	140	162	7	169	74	1	75	370	14	384	内	28	6	2
	午後	143	1	144	158	6	164	82	6	88	383	13	396	小	21	0	1
	夜間	467	9	476	516	31	547	261	8	269	1,244	48	1,292	外	13	1	13
	合計	744	16	760	836	44	880	417	15	432	1,997	75	2,072	合計	62	7	16
28年度 4月	午前	114	2	116	162	4	166	51	5	56	327	11	338	内	37	0	8
	午後	118	4	122	128	6	134	82	2	84	328	12	340	小	19	1	0
	夜間	547	11	558	521	39	560	284	2	286	1,352	52	1,404	外	11	1	2
	合計	779	17	796	811	49	860	417	9	426	2,007	75	2,082	合計	67	2	10

月別受診患者数の推移

（単位：人）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	年間前年度比	
25年度	2,109	2,863	1,626	1,902	1,964	1,988	1,559	1,809	2,863	2,788	2,315	2,729	26,515	7.6%	
26年度	2,067	2,721	1,543	1,786	2,102	1,678	1,490	1,994	2,836	4,140	2,148	2,061	26,566	0.2%	
27年度	1,932	2,884	1,518	2,043	2,115	2,223	1,656	1,919	2,272	2,575	2,774	2,763	26,674	0.4%	
28年度	2,082	2,533	1,603	2,165	2,243	1,934	2,028	1,988	3,648	3,655	2,498	1,856	28,233	5.8%	
29年度	2,072												2,072	—	
内訳	内科	760												760	
	小児科	880												880	
	外科	432												432	



## 第5回 高岡ねがいみち駅伝 高岡市医師会チーム快走!

在宅医療支援担当理事

地域保健委員 林 智彦

平成29年5月14日(日)に第5回高岡ねがいみち駅伝が開催されました。高岡ねがいみち駅伝とは、射水神社と高岡大仏、関野神社を結ぶ通称「ねがいみち(願い道)」を8周するコース(総距離20.4km)を1チーム4～8人でタスキを繋いで走る駅伝です。今年で5回目を迎え、過去最多の2516人が参加しました。

そもそもなぜ駅伝に参加することになったかという経緯ですが、今年2月某日、臨床検査センター担当理事の白崎文朗先生と理事会開催前に共通の趣味であるマラソンについて雑談しておりました。話の中で、例年土曜日に開催されていた高岡ねがいみち駅伝が今年は日曜日に開催されることを知り、医師会でチームを組んで参加しましょうということになり、意気投合したことから始まりました。どうせ走るなら、ねがいみち駅伝ですから何か願いを込めて走ったらどうかという話になりました。さてどんな願いを込めるかと考えていた時に、ちょうど理事会の議題で、高岡市のがん検診、特定健診の受診率は低いという話題が出てきました。それなら「受診率向上を祈願し走りますか!」ということになり話が進んでいきました。

メンバー選考は困難を極めました。が、エースランナーとして高岡厚生センター所長の守田万寿夫先生をお誘いし、医師会臨床検査センターから山本敏統さん、竹森一敏さん、宮腰希望さんの精鋭3人、白崎文朗先生そして自称高岡市医師会の藤原新こと林智彦の6人で高岡市医師会チームを結成し臨むことになりました。



受診率向上の願いを込めて参加するので、参加者、観客から注目を集め受診行動に繋げなくてはなりません。そこで、ユニフォームとしては手術衣、手術帽を着用し見た目では医療関係者だと分かる格好をして、肩から「特定健診、がん検診、健診受けてね!」と



いう襷をかけて走ることにしました。その効果があり、我々の走っている姿を見た沿道の方々からは「30日にがん検診受けます！」とか、「今年はちゃんと特定健診を受けます！」といった声を多数かけられました。医師会会員の先生方には日常診療でお忙しいところ大変恐縮ですが、今年は受診者が増えるかもしれませんのでよろしくお願い致します。



また、この駅伝のために応援グッズを作成し、朝早くから駆けつけて

いただいた医師会事務局、臨床検査センター、訪問看護ステーションの白衣を纏った美魔女たちの熱い声援のお陰で、タイム：1時間46分56秒で見事完走できました。応援ありがとうございました。男女混成の部の参加152チーム中59位と啓蒙重視の走りにはなかなかの順位で終わることができました。

走り終えた後、射水神社にて「一人でも多くの市民の皆さんが、がん検診、特定健診を受けて健康に過ごせますように！」と高岡市医師会チーム全員で祈願しました。



## 訪問看護ステーションだより

担当理事 吉田耕司郎

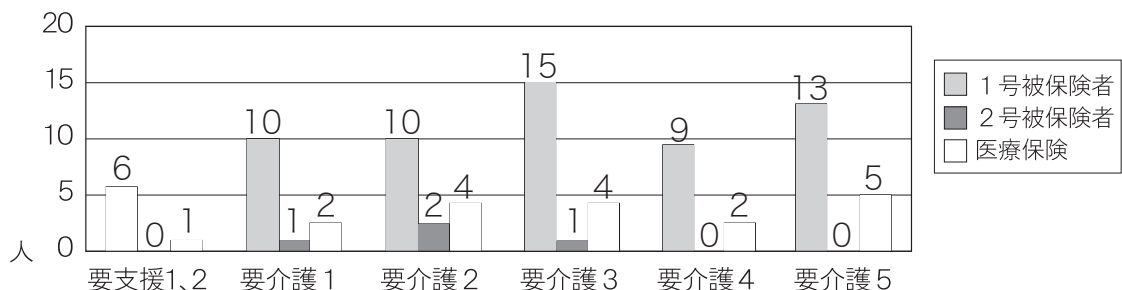
Mさんは、90歳代前半、日中ほぼ独居状態、要介護4の男性です。呼吸不全・心不全で入院し、2月初旬に退院されたのですが、以前に比べ食欲低下、筋力低下が目立ち寝たきり状態になり、2月下旬に訪問看護の依頼がありました。1日2回、ヘルパーさんがオムツ交換していますが、それ以外はサービスが入っていませんでした。Mさんのお宅は、奥様が入院中で、息子さん夫婦は日中不在です。初回訪問は、本人1人で寝ておられる居室に、ケアマネ同行で挑みました。Mさんは、食欲もなく、しばらく清拭も着替えもできていないようだったので、まず全身状態の観察、あわよくば清拭と着替えを…と目論んでいました。玄関を上がり、居室に入る前から、テレビが大音量…、かなり難聴？ちょっと嫌な予感。さて、居室の戸を「トントン」とノックし「初めまして、看護婦です。」と言いながら戸を開けました。ベッド上のMさんは、痩せておられますが、目力は強く、意志の強さを感じました。聞いていた通りの頑固さ。食事や水分は本人の手が届く所に置いてあり、自分が好きな時に食べておられました。何とかバイタルサインの測定とオムツ交換はさせてもらったのですが、案の定、拒否が強く、どうして看護婦が来たのか理解できていないようでした。「着替えはしない。暖かくなったら自分で風呂に入るから、何もせんで良い。触るな。」と大声。当初のあれもこれももしよう作戦は不発でした。訪問看護は週1回の予定だったのですが、湯たんぽで下肢に低温火傷の糜爛が発生し、処置のため週2回となりました。

Mさんは、自動車運転免許の更新も迫っていて、「更新に出かける。1人で行ける。」の一点張り。以前から、家族の中ではワンマンだったようで、息子さんから注意されても態度は変わりませんでした。急に起き上がり、歩こうとして座り込み、動けなくなることを繰り返しました。自動車免許更新期限最終日、スタッフや家族も、もしや…とと思っていましたが、やはり玄関まで1人で歩いていき、倒れていたそうです。結局、本人には「失効しても、手続きをすれば数ヶ月間なら再交付が可能かも」と伝えられ、落ち着きました。

その後、ベッドは嫌だと訴えてベッドを返却しました。夜は1人でキッチンまで何とか歩いて行き、自分でお酒をコップに注ぎ、部屋まで運び、楽しく飲んでおられるようです。

入浴は、先日、自宅の浴室で入浴が実現しました。血圧や呼吸、筋力など不安は大きかったのですが、Mさんの強い希望があり、最初は看護師2人訪問で介助してみました。結果、本人も大満足、満面の笑みで「ありがとう」と、今まで想像できなかったような穏やかな表情を見ることができました。今後は、看護師とヘルパーの2人対応で自宅入浴介助を実施予定。全身状態やADLが上がってきたら、再びデイサービスなどの提案をすることになりました。今まで、周囲がアレコレ騒いでも本人が納得できないことが多く、空回りしていたようです。地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築に関して、植木鉢の絵が用いられます。最近、その植木鉢の受け皿の部分が進化したそうです。「本人・家族の選択と心構え」が「本人の選択と本人・家族の心構え」に変わりました。実際、介護者の希望や選択、心構えは聞き取りやすいのですが、本人としっかり向き合うのは、結構エネルギーが必要で、向き合う側の覚悟が必要です。予後の問題やコミュニケーション方法の問題もあります。また、家族に迷惑をかけたくない想いだったり、想いを表出する手段がなくて、聞く側もあきらめることがあります。医療職として判断することは重要ですが、本人が置き去りにになっていることが多かったような気がします。Mさんの訪問は毎回賑やかです。大声で意見を言います。諦めず、必死に自分の想いを伝える力に最近后感心しています。私たちは、ある意味大切なことに気付かせてもらいました。Mさん、こちらにも負けずに全力で挑みますので、これからもよろしくお願ひします。（文責 野田美加）

## ●4月の実績（平成29年4月1日～30日）



	介護保険対象者		医療保険対象者
	65歳以上	40～64歳	
男性	23名	2名	12名
女性	41名	2名	13名
合計	64名	4名	25名

訪問回数  
 介護 348回  
 医療 223回  
 合計 571回

合計 93名（重複1名）





# いししん マイカーローン

●個人および事業用の自動車購入をお考えの方は、是非ご相談ください。

ご融資金額	1000万円以内	お気軽にご相談ください。 お待ちしております。
ご融資期間	7年以内	
ご融資利率	固定金利 <b>0.95%</b>	
ご返済方法	元金均等・元利均等(ボーナス併用可)	
担保	融資残高1200万円以下は担保不要また、A会員で財務内容等に問題がなければ融資残高3000万円まで無担保扱いが可能です。	
保証人	個人の場合 原則不要です 法人の場合 原則代表者1名が必要です	
申込時の必要書類	(資金用途に関する書類) 見積書、契約書等 (収入に関する書類) 確定申告書の写し2期分(既にご提出済みの方は不要です)	
備考	お借入の際は当組合に加入していただきます	

上記以外にも各種制度融資がございますので当組合のホームページをご覧ください。

富山県医師信用組合

TEL 076-429-6272 FAX 076-429-6467  
http://www.toyamadcu.co.jp/

## \* 市医のあゆみ \*

4月17日 厚生連高岡病院症例カンファレンス  
19日 高岡市民病院・医師会合同症例カンファレンス  
肺がん検診読影会  
21日 高岡市医師会移転施設内見会  
定例会  
26日 理事会  
肺がん検診読影会  
27日 在宅医療連携協議会運営委員会、小委員会

5月2日 二塚医師会館引き渡し式  
第5回在宅医療談話会  
ドクターネットかたかご会  
8日 済生会高岡病院症例検討会  
急患医療センター管理運営小委員会  
9日 JCHO 高岡ふしき病院症例カンファレンス  
10日 診療報酬明細書受付締切  
肺がん検診読影会  
12日 理事会  
15日 厚生連高岡病院症例カンファレンス



## 6月の 予 定 表

日	予定事項	時刻	場所
2日(金)	急患医療センター管理運営小委員会	19:30	急患医療センター
6日(火)	第7回多職種事例検討会 ドクターネットかたかご会	19:30	当会
		19:30	当会
7日(水)	肺がん検診読影会	19:30	当会
9日(金)	理事会	19:30	当会
10日(土)	診療報酬明細書受付締切	10:00	当会
12日(月)	済生会高岡病院症例検討会	19:00	済生会高岡病院
13日(火)	JCHO 高岡ふしき病院症例カンファレンス	19:00	JCHO 高岡ふしき病院
14日(水)	肺がん検診読影会	19:30	当会
15日(木)	在宅医療連携協議会	19:30	当会
18日(日)	オープンゴルフ	11:34	高岡カントリー倶楽部
19日(月)	厚生連高岡病院症例カンファレンス 在宅医療市民公開シンポジウム打ち合わせ会	19:00	厚生連高岡病院
		19:30	当会
21日(水)	訪問看護ステーション事例検討会 高岡市民病院・医師会合同症例カンファレンス 肺がん検診読影会	13:30	高岡地域地場産業センター
		19:00	高岡市民病院
		19:30	当会
23日(金)	定例会・定時総会	19:30	当会
27日(火)	がん検診委員会	19:30	当会
28日(水)	理事会 肺がん検診読影会	19:30	当会
		19:30	当会

編集  
後記

高岡駅に隣接した「ソラエ」内に出来た新しい看護学校と医師会館がいよいよ発進。2階の改札口からピカピカの連絡道でそのまま建物に入ることができる利便性はちょっとした優越感も感じます。夜にもなると建物はパステルカラーのネオンサインがおしゃれに輝き新しい街並みの一角を飾っています。これまで医師会館での会議や委員会は、終わるときわめて健全に帰路についていたものですが今後は会議後ちょっと杯を交わして…ということも増えるのではないのでしょうか。300人以上もの看護学生さんが毎日集結することになった駅前帯はテナント出店希望の問い合わせも増えているそうでやや停滞気味だった駅前にもちょっと若返り感、わくわく感が出てきました。市民のみなさんの健康を守る「ゆるキャラ」でも作ってソラエとクルンで「街カフェイベント」を開き、「たかおか健康スマホアプリ」を作ってPRを明るくできたら楽しいかなと勝手に想像するのでした。(K.I)

発行所  
高岡市医師会  
〒931-0012 高岡市下関町四番五十六号  
電話 (0766) 2517060

発行人  
高岡市医師会会長 藤田 一

印刷所  
有限会社 米島印刷

高岡市医師会

ホームページアドレス <http://www.toyama.med.or.jp/gunsi/taka/> Eメールアドレス [g-taka@toyama.med.or.jp](mailto:g-taka@toyama.med.or.jp)